

特 殊 報

長崎県病害虫防除所長

平成19年度病害虫発生予察 特殊報第1号

- 1 病害虫名 メロン退緑黄化病、キュウリ退緑黄化病(仮称)
- 2 病原ウイルス ウリ類退緑黄化ウイルス Cucurbit chlorotic yellows virus;CCYV(仮称)
- 3 発生作物及び発生場所
 メロン(松浦市、南島原市深江町)、きゅうり(南島原市有家町)
- 4 発生確認の経過
 - (1)平成17年2月及び平成18年2月、冬春作きゅうりにおいて、葉が黄化する症状が南高来郡有家町(当時)で発生した。キュウリ黄化えそ病・黄化病が類似の症状を示すことから、病害虫防除所においてRT-PCR法によりウイルス検定を実施したが、検出されなかった。また、平成19年10月にも松浦市と南島原市深江町のメロンで葉が黄化する症状が確認された。
 - (2)平成16年以降九州各地でウリ類に発生した原因不明の黄化症について、発生要因説明等の共同試験により、クロステロウイルス科クリニウイルス属の新規ウイルスが検出され、ウイルス病であることが明らかになった。
 - (3)本県において、(1)のきゅうり及びメロンについて、(独)九州沖縄農業研究センターが新たに開発した手法により、病害虫防除所と総合農林試験場が共同でウイルス検定した結果、同種のウイルスが検出され、本ウイルスによるメロン退緑黄化病、キュウリ退緑黄化病の発生が確認された。
 農林水産研究高度化事業「果菜類における新規コナジラミ(バイオタイプQ)等防除技術の開発」:(独)野菜茶業研究所、(独)九州沖縄農業研究センター、熊本県、佐賀県、大分県及び宮崎県
- 5 感染植物
 これまでに感染が確認されている植物はメロン、きゅうり、すいかである。
- 6 主な感染植物での症状および被害
 - (1)メロン、きゅうりともはじめ、葉に退緑小斑点が生じ、斑点が増加・癒合しながら黄化、拡大して斑状の黄化葉となる。症状が進展すると斑点状の緑色部分を残して葉の全面が黄化する。きゅうりの場合は葉縁が下側に巻く症状が認められる。
 - (2)メロンでは、下位葉から徐々に中～上位葉に拡大していくが、その程度は下位葉に比べて軽いことが多い。初めに黄化した葉の節位が低いほど、品質や収量へ与える影響も大きく、果実糖度および果実重量の低下と減収が確認されている。
 - (3)きゅうりについては黄化による草勢低下が認められる。
 - (4)類似した症状を示すものに、メロン黄化葉症、オンシツコナジラミが媒介するキュウリ黄化病(病原ウイルスBPYV)がある。



写真1：メロン退緑黄化病が発生した圃場



写真2：キュウリ退緑黄化病が発生した圃場



写真3：メロン退緑黄化病の病徴
写真4：メロン退緑黄化病の病徴
写真5：キュウリ退緑黄化病の病徴
(退緑小斑点増加、黄化しながら癒合拡大) (葉脈及び緑斑を残し黄化) (葉脈を残し黄化、下側に葉がまく)

7 伝染方法

現在、タバココナジラミバイオタイプQが本ウイルスを媒介することが確認されている。ウイルスのその他の媒介特性については試験中である。ただし、クリニウイルスは、半永続媒介で経卵伝染、汁液伝染、土壌伝染、種子伝染しないことが知られている。

8 防除対策

- (1) 媒介虫であるタバココナジラミの施設内への侵入を防止するとともに、施設に侵入した個体を薬剤で防除する。特に、育苗期間から生育初期の感染は経済的な被害につながるため、この時期の対策を重視する。
- (2) 発病した株は伝染源となる。直ちに抜き取りほ場外に持ち出して埋没処分するか、ビニール袋に入れて完全に枯れるまで密閉処理する。
- (3) 黄色粘着トラップを施設内に設置して媒介虫の早期発見に努める。
- (4) 未発生地域ではウイルスの侵入を防止するため、発生地域から苗を購入する場合は、ウイルス対策を実施している施設で育苗した苗を購入するなど、十分注意する。
- (5) ほ場周辺やほ場内の雑草は媒介虫の発生源となるので除草する。
- (6) 施設栽培では、栽培終了時にハウスを密閉処理し、媒介虫が施設外に飛び出さないようにする。
- (7) 未発生地域で疑わしい症状が発生した場合は、最寄りの農業改良普及センターや病害虫防除所に連絡する。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

「防除所ホームページ」を利用して、ながさき農林業総合情報システム（一部会員制、アドレス：<http://www.n-nourin.jp/>）やその他の情報を閲覧することができます。

この情報に関するお問い合わせは、電話またはEメールでお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027， Eメール：kngs0301@sp.jppn.ne.jp